



平安だより

平安幼稚園
2022年6月

『しかし、成長させてくださったのは神です。』
(コリントの信徒への手紙一 3章6節)

「小さな成長を見逃さずに」

牧師・園長 江間紗綾香

4月、ある保護者の方から「新しいお友達に優しくしてあげたいって言って、楽しみにしているようです」というお子様の話を聞きました。自分も優しくしてもらったから、お友達にもそうしてあげたいとの思いがあったようです。この話を聞いた時、心がとても温かくなりました。またある時、園庭で年少さんたちが遊んでいるかたわらで花の世話をしていると、ある子供に「何をしているの?」と聞かれます。「お花が元気になるようにお水をあげているんだよ」と答えると、その子が嬉しそうにスコップですくっていた砂場の砂をお花にかけ始めたのです。とても驚きましたが、その子はお水だけではなく土も一緒に入れてもっと元気にしたかったようです。大胆な方法でしたが、元気にしてあげたいという気持ちが嬉しくなりました。その他、3階の仕事部屋から園庭をのぞいていると、年中さんが年少さんを思いやって一緒に遊んでいる場面をたびたび見かけます。年長さんも何かをする時にはお友達に声かけをしていますし、年中さんや年少さんに優しくしてあげたいという気持ちに溢れています。体だけではなく、心も着々と成長していると感じる場面にもいつもほっこり優しい気持ちになります。また、今までに見ることのなかった姿に頼もしさを感じることもあります。のびのびと、その子供らしく成長していることを担任の先生方や保護者の方と分かち合えることもまた嬉しい限りです。

子供たちは今、それぞれに朝顔やひまわり、いろいろな野菜を育てています。小さな種が、小さな花がふと気づくと芽を出し、実になっていきます。その植物の成長は、時に子供たちの成長を想像させてくれます。大人が気づかないうちにお友達への思いやりの心を持っていたり、責任感を持って与えられた仕事をするようになっていたりします。また、雨や暑さに耐えて植物は成長しますが、子供たちも様々なこと—楽しいことばかりではなく辛いことや苦しいことも経験してたくましくなっていきます。ご家庭や幼稚園での一つ一つが子供たちの成長につながっていることは確かですが、思いもよらない成長をさせているのは神様の力であると感じることも多々あります。

では、子供の成長は神頼み? そうではありません。神様は、子供たちの成長を助ける肥料となる様々な経験を与えること、倒れそうな時には支柱のように支えることを私たち大人の働きとして与えています。何より、神様は私たちと共にいてくださり、子供たちの成長を守り、導いてくださっているのです。そのことを力にし、一人ひとりの成長を子供たち、保護者の方と喜ぶことができる保育を目指していきたいと思うのです。